

平成15年度第1回市民アンケート結果 [新しいまちづくり計画について]

(総務局広報部市民の声を聞く課実施)

平成15年10月

札幌市企画調整局企画部

調査実施の概要

1 調査目的

新まちづくり計画の策定の参考とするために、市民のまちづくりに関する意向を把握する。

2 調査期間

平成15年7月25日～8月15日

3 調査方法

A4判の調査票を郵送し、返信用封筒で回収

4 調査対象者

20歳以上の市民男女10,000人（住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」）

5 調査内容

「新しいまちづくり計画について」（5つの調査テーマのうちの1テーマとして実施）
（調査項目）

- 問1 「元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ」の実現のために必要なこと
- 問2 「健やかに暮らせる共生の街さっぽろ」の実現のために必要なこと
- 問3 「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現のために必要なこと
- 問4 「芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ」の実現のために必要なこと
- 問5 「ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ」の実現のために必要なこと
- 問6 今後のまちづくりに関する意見

6 回収結果

【回収数】 4,293 通 【回収率】 42.9 %

【男女別内訳】（単位：件，%）

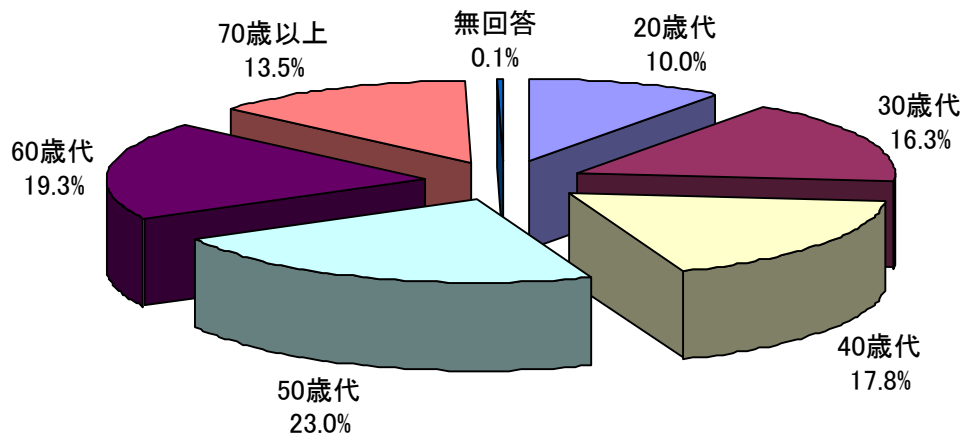
	回収数	構成比
男性	1,605	37.4
女性	2,673	62.3
不明	15	0.3
合計	4,293	100.0

【区別内訳】

（単位：件，%）

区分	回収数	構成比	区分	回収数	構成比
中央区	443	10.3	清田区	275	6.4
北区	613	14.3	南区	399	9.3
東区	539	12.6	西区	489	11.4
白石区	424	9.9	手稲区	317	7.4
厚別区	317	7.4	不明	5	0.1
豊平区	472	11.0	合計	4,293	100.0

【年代構成比】



本調査結果利用上の注意

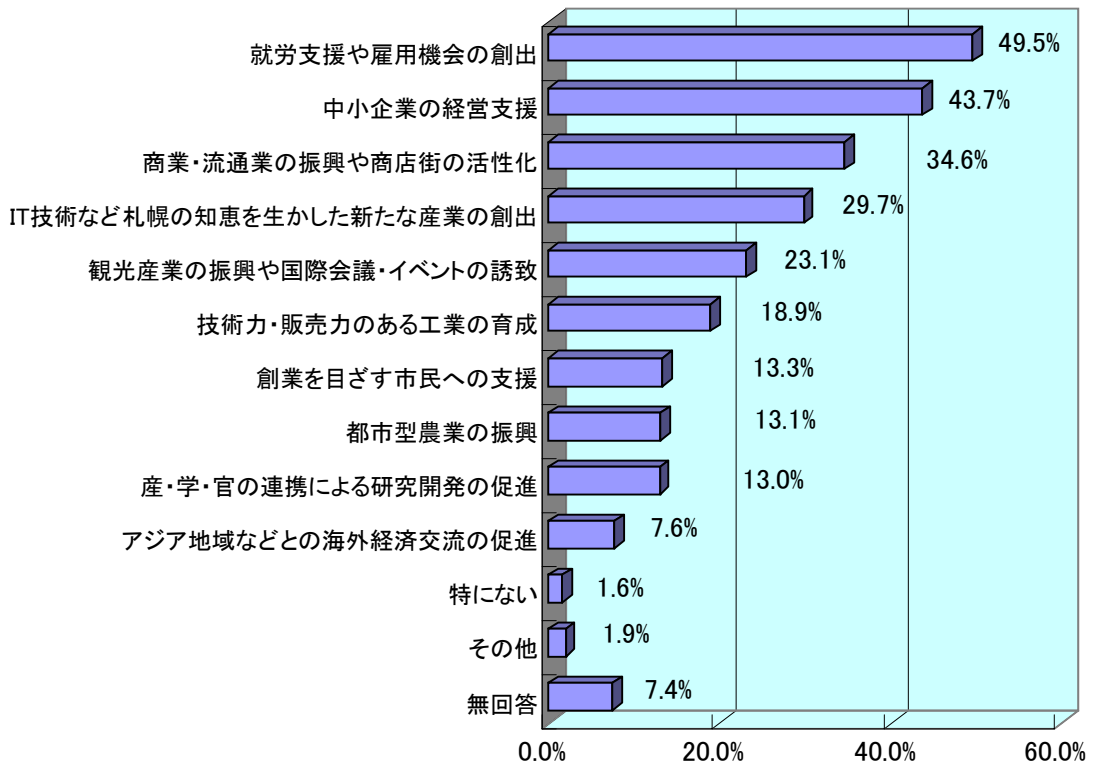
- (1) 文中のNとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- (2) 各回答の百分率はNを基数として算出し、小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 1人の対象者に2つ以上の複数回答を認めた場合は、回答者総数を基数としているので、比率の合計は100.0%を超えることがある。

調査の結果

「元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ」の実現のために必要なこと（複数回答）

問1 「元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ」を実現するために、次の中から、あなたが特に必要と思うことを3つまで をつけてください。

(N = 4,293)



（全体の結果）

「就労支援や雇用機会の創出」が最も多く 49.5%、次いで「中小企業の経営支援」が 43.7%、「商業・流通業の振興や商店街の活性化」が 34.6%であった。

（男女別の結果）

男女とも「就労支援や雇用機会の創出」を選択した人が最も多く、女性が 53.2%と男性の 43.4%を 9.8ポイント上回った。

（年代別の結果）

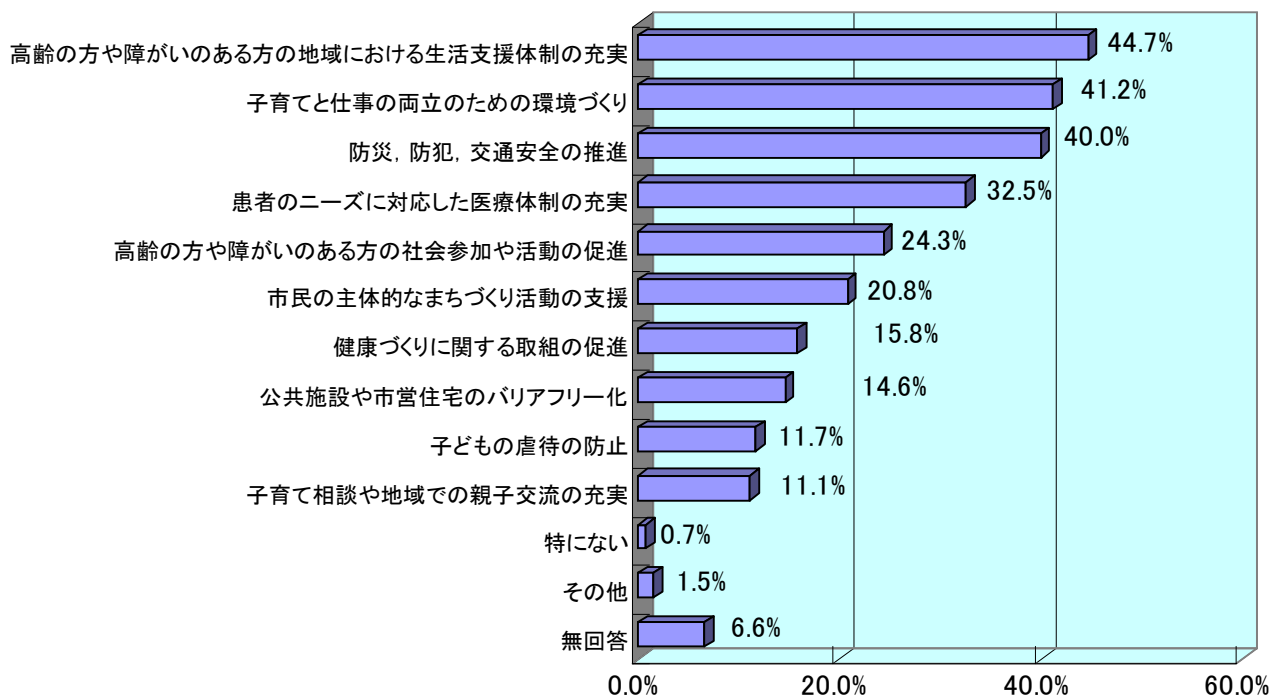
60歳代では「商業・流通業の振興や商店街の活性化」が最も多かったが、その他年代では「就労支援や雇用機会の創出」を選択した人が最も多かった。第2位の項目は各年代とも「中小企業の経営支援」であった。

「元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ」の実現のために必要なこととして、「就労支援や雇用機会の創出」が最も多く 49.5%

「健やかに暮らせる共生の街さっぽろ」の実現のために必要なこと（複数回答）

問2 「健やかに暮らせる共生の街さっぽろ」を実現するために、次の中から、あなたが特に必要と思うことを3つまでをつけてください。

(N = 4,293)



（全体の結果）

「高齢の方や障がいのある方の地域における生活支援体制の充実」が最も多く 44.7%，次いで「子育てと仕事の両立のための環境づくり」が 41.2%，「防災，防犯，交通安全の推進」が 40.0%であった。

（男女別の結果）

男性は「防災，防犯，交通安全の推進」を選んだ人が最も多く 45.2%，女性は「高齢の方や障がいのある方の地域における生活支援体制の充実」を選んだ人が最も多く 46.4%であった。第2位の項目は男性が「高齢の方や障がいのある方の地域における生活支援体制の充実」，女性が「子育てと仕事の両立のための環境づくり」であった。

（年代別の結果）

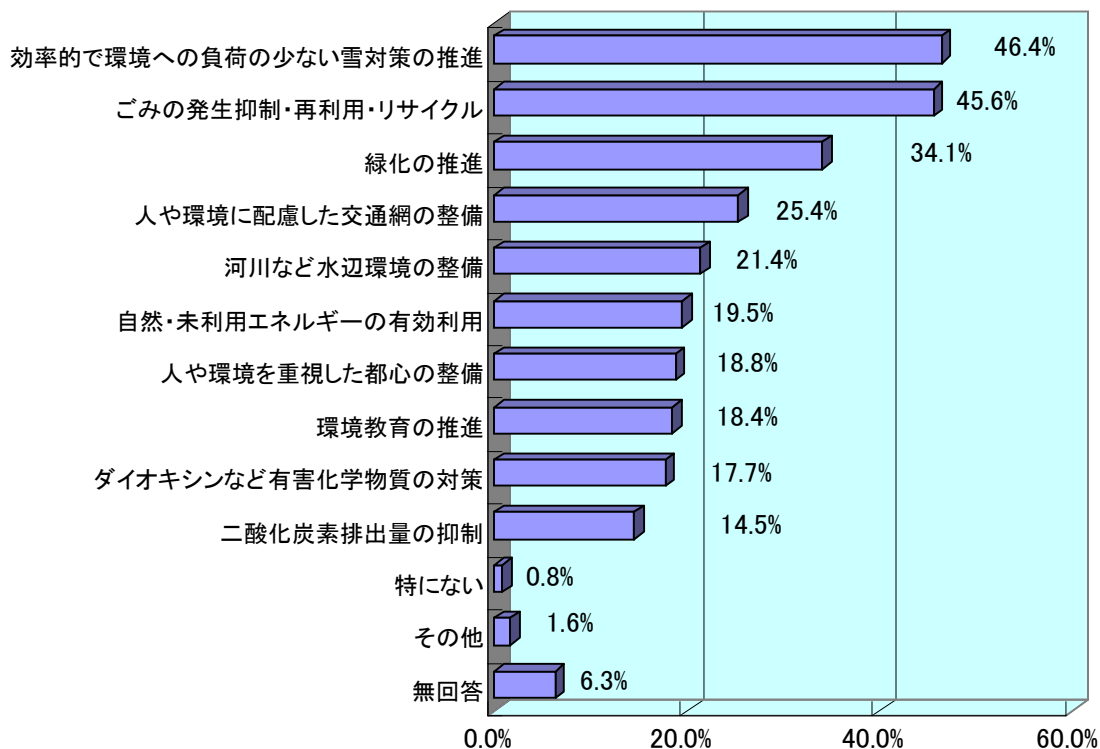
20～30歳代では「子育てと仕事の両立のための環境づくり」，40歳代では「防災，防犯，交通安全の推進」，50歳以上では「高齢の方や障がいのある方の地域における生活支援体制の充実」が最も多かった。

「健やかに暮らせる共生の街さっぽろ」の実現のために必要なこととして、「高齢の方や障がいのある方の地域における生活支援体制の充実」が最も多く 44.7%

「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現のために必要なこと（複数回答）

問3 「世界に誇れる環境の街さっぽろ」を実現するために、次の中から、あなたが特に必要と思うことを3つまで をつけてください。

(N = 4,293)



（全体の結果）

「効率的で環境への負荷の少ない雪対策の推進」が最も多く 46.4% ,次いで「ごみの発生抑制・再利用・リサイクル」が 45.6% ,「緑化の推進」が 34.1%であった。

（男女別の結果）

男女とも「効率的で環境への負荷の少ない雪対策の推進」が最も多かった（なお、女性は「ごみの発生抑制・再利用・リサイクル」が同じ割合で最も多かった）。

（年代別の結果）

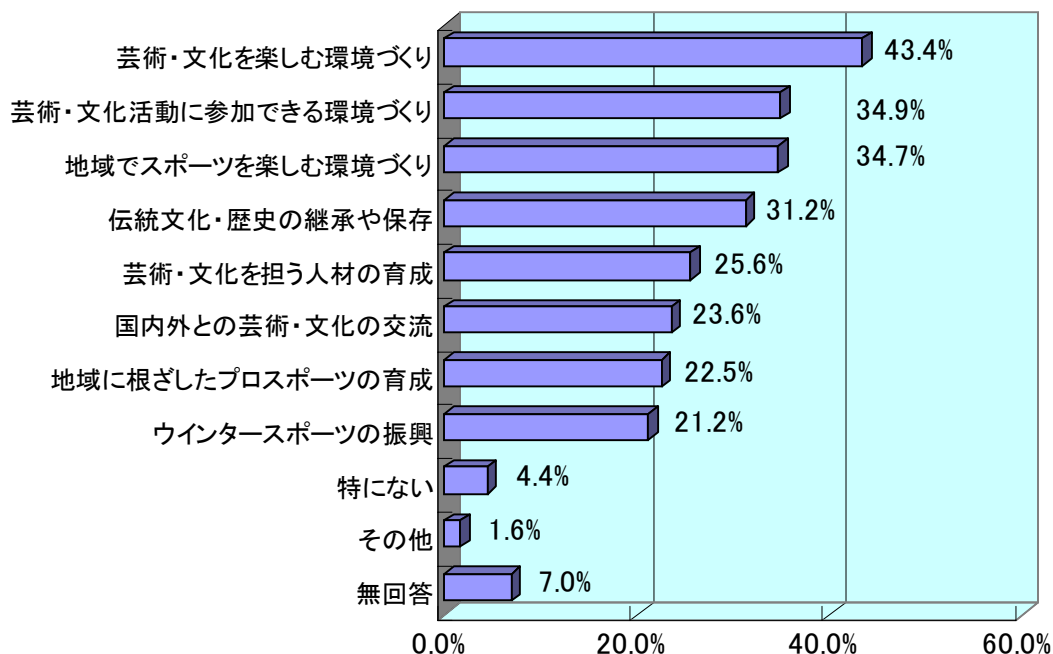
20～40歳代では「ごみの発生抑制・再利用・リサイクル」が最も多かったが、50歳代以上では、「効率的で環境への負荷の少ない雪対策の推進」が最も多かった。

「世界に誇れる環境の街さっぽろ」の実現のために必要なこととして、「効率的で環境への負荷の少ない雪対策の推進」が最も多く 46.4%

「芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ」の実現のために必要なこと（複数回答）

問4 「芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ」を実現するために，次の中から，あなたが特に必要と思うことを3つまでをつけてください。

(N = 4,293)



（全体の結果）

「芸術・文化を楽しむ環境づくり」が最も多く 43.4%，次いで「芸術・文化活動に参加できる環境づくり」が 34.9%，「地域でスポーツを楽しむ環境づくり」が 34.7%であった。

（男女別の結果）

男女とも「芸術・文化を楽しむ環境づくり」を選択した人が最も多かった。第2位の項目は男性が「地域でスポーツを楽しむ環境づくり」，女性が「芸術・文化活動に参加できる環境づくり」であった。

（年代別の結果）

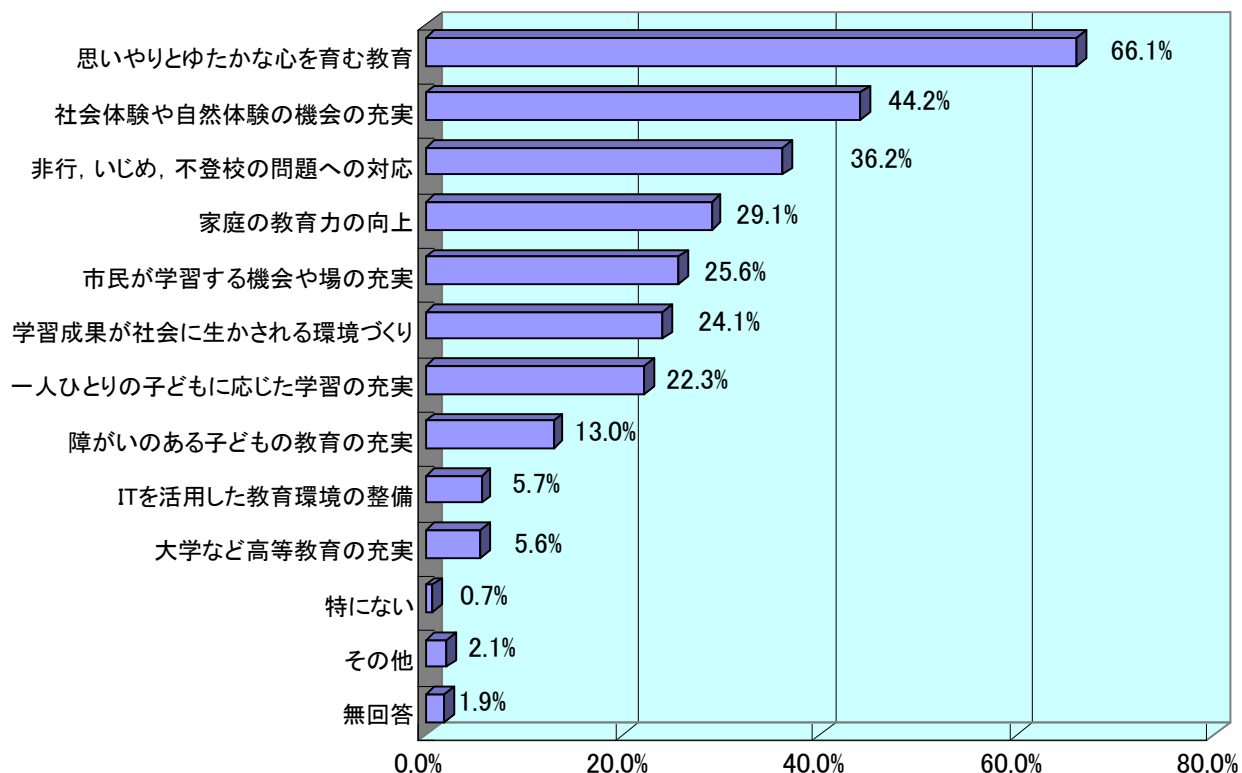
各年代とも「芸術・文化を楽しむ環境づくり」を選択した人が最も多かった。第2位の項目は20～30歳代では「芸術・文化活動に参加できる環境づくり」であったが，40～60歳代では「地域でスポーツを楽しむ環境づくり」，70歳以上では「伝統文化・歴史の継承や保存」であった。

「芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ」の実現のために必要なこととして，「芸術・文化を楽しむ環境づくり」が最も多く 43.4%

「ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ」の実現のために必要なこと(複数回答)

問5 「ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ」を実現するために、次の中から、あなたが特に必要と思うことを3つまで をつけてください。

(N = 4,293)



(全体の結果)

「思いやりとゆたかな心を育む教育」が最も多く 66.1% , 次いで「社会体験や自然体験の機会の充実」が 44.2% , 「非行, いじめ, 不登校の問題への対応」が 36.2% であった。

(男女別の結果)

男女別で、選択項目の順位・選択割合の目立った差は見られなかった。

(年代別の結果)

各年代とも「思いやりとゆたかな心を育む教育」を選択した人が最も多かった。第2位の項目は 20~60 歳代では「社会体験や自然体験の機会の充実」であったが、70 歳以上では「家庭の教育力の向上」であった。

「ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ」の実現のために必要なこととして、
「思いやりとゆたかな心を育む教育」が最も多く 66.1%

今後のまちづくりに関する意見（自由記載）

問6 その他、あなたが今後のまちづくりで特に必要だと思うことがありましたらお書きください。

この設問には1, 346名の方から意見が寄せられた。（1通に複数意見の掲載あり）。多かった内容順に整理すると、以下のとおりである。

順位	主な内容	件数
1	除排雪の充実，つるつる路面の対策	119
2	思いやり，豊かな人間性	92
3	街のバリアフリー化，高齢の方や障がいのある方への理解・配慮	87
4	ごみ出しルールの徹底やごみのポイ捨て規制など，ゴミ対策	85
5	地下鉄を含む公共交通機関の充実や利便性の向上	81
6	自然環境の保全，街の緑化・水辺環境の整備	75
7	防犯対策	72
7	市政への市民参加・意見反映，市民の意識変革の促進	72
9	行政の効率化・スリム化，職員の意識改革	63
10	経済・雇用対策	60